

予算決算委員会建設分科会記録

1 日 時 令和3年9月22日（水曜日）

開 会	午前 9時54分
休 憩	午前10時04分
再 開	午前10時33分
休 憩	午前11時03分
再 開	午後 0時08分
閉 会	午後 0時20分

2 場 所 第 4 委 員 会 室

3 出席委員 9人

分科会長	竹 田 勝
分科会副会長	金 谷 幸 則
委 員	柏 佳 枝
//	高 原 讓
//	豊 岡 達 郎
//	岡 部 享
//	谷 口 寿 一
//	横 野 昭
//	金 厚 有 豊

4 欠席委員 0人

5 説明のため出席した者

【消防局】

局長	相澤	充則
局次長	河部	勝巳
総務課長	石井	誠
予防課長	浦山	信之
警防課長	松井	孝博
通信指令課長	井原	毅
総務課主幹（総務企画・調整担当）	嘉戸	智人

【建設部】

部長	舟田	安浩
理事（土木事務所長）	山元	政彦
部次長	高柳	誠
部次長（技術担当）	酒井	正道
参事（建設政策課長）	高尾	輝彦
参事（土木事務所建設課長）	牧	雅浩
道路整備課長	奥田	孝治
道路河川管理課長	帳山	誠志
河川整備課長	経澤	陽一
道路構造保全対策課長	野上	一成
公園緑地課長	澤野	重雄
市営住宅課長	山崎	悟
建設政策課主幹（調整担当）	中川	哲也

【活力都市創造部】

部長	中村	雅也
部次長	中村	敏之
部次長（技術担当）	狩野	雅人
交通政策課長	野村	知範
富山駅周辺地区整備課長	金山	英樹
中心市街地活性化推進課長	柵	伸治
活力都市推進課主幹（調整担当）	谷島	洋

6 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課長代理

中山 崇

議事調査課主査

熊谷 法子

議事調査課会計年度任用職員

佐伯 瞳

7 会議の概要

分科会長 ただいまから、令和3年9月定例会の予算決算委員会建設分科会を開会いたします。

〔報道機関のテレビカメラ撮影を許可〕

分科会長 審査に先立ち、分科会記録の署名委員に高原委員、豊岡委員を指名いたします。

各案件の審査については各部局単位とし、お手元に配付してあります審査順序のとおり行う予定であります。

なお、質疑については議案に直接関係あるものだけをお願いいたします。

また、委員及び当局の皆さんに申し上げますが、質疑・答弁及び説明については、簡潔・明瞭に行っていただきますようお願いいたします。

なお、マスクで声が聞き取りにくいことから、発言する際は、はっきりと大きな声をお願いいたします。

これより、消防局所管分に入ります。

報告案件として提出されている

報告第46号 令和2年度富山市一般会計継続費精算報告書、第9款消防費を議題といたします。

これより、当局の説明を求めます。

消防局長 〔挨拶〕

総務課長 〔議案書により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 ないようですので、これをもって質疑を終結
いたします。
なお、ただいまの報告案件につきましては議
決不要のものです。
以上で建設分科会消防局所管分を終了いたし
ます。

午前10時04分 休憩

~~~~~

午前10時33分 再開

分科会長     これより、建設分科会建設部所管分の議案の  
審査を行います。  
議案第168号 令和3年度富山市一般会計  
補正予算（第4号）、第1条歳入歳出予算の

補正、歳出第8款土木費中、建設部所管分  
を議題といたします。

これより、順次、当局の説明を求めます。

建設部長           〔挨拶〕

建設部次長       〔議案第168号中  
建設部所管分の概要について、  
議案説明資料により説明〕

道路河川管理課長   〔議案第168号中  
道路維持補修事業費（市道区画街路第390  
2号線調査設計業務委託）について、  
雪対策事業費について、  
議案説明資料により説明〕

道路構造保全対策課長   〔議案第168号中  
道路維持補修事業費（吉谷トンネル補修工事  
）について、  
議案説明資料により説明〕

建設政策課長       〔議案第168号中  
道路計画事業費について、  
議案説明資料により説明〕

河川整備課長       〔議案第168号中

浸水対策事業費について、  
議案説明資料により説明]

公園緑地課長 〔議案第168号中  
公園管理費について、  
議案説明資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

岡部委員 まず1点目、議案説明資料5ページの除雪機  
械位置情報把握システム端末導入業務委託に  
ついて、これは今定例会の一般質問でもあり  
ましたが、具体的に市内中心部の緊急通行確  
保路線等の除雪車30台への導入と書いてあ  
ります。  
具体の路線は明らかになっているのかどうか、  
まず教えていただきたいです。具体的にたく  
さんあれば、別にお示しをいただければと思  
っています。

道路河川管理課長 GPS端末を導入する路線についてお答えい  
たします。  
今回、市内中心部の緊急通行確保路線等とい  
うことで表現させてもらっておりますが、今  
年1月の大雪では、中心部における渋滞が大

変多く発生しました。このため、まずは中心部の除雪車30台への導入を考えております。その中で、幹線の道路よりもう少し細かな、枝葉となる生活道路を併せて除雪機械で除雪しているところでございますが、全ての対象路線を除雪する除雪機械のオペレーターに端末をお渡しして除雪の作業をしていただくこととしており、今回対象とするのは中心部の除雪対象路線全てになります。

岡部委員 中心部の除雪対象路線全てということですが、けれども、これは地域の要望などを踏まえて中心部と決めたことなのか、どちらかというところ、今年の豪雪を踏まえて市として判断した路線なのかどうか、お聞かせください。

道路河川管理課長 今回、中心部を選定したことにつきましては、今年の大雪で、車が集中する中心部での渋滞の発生が著しく多かったと我々は考えております。そのことから、まずは渋滞・孤立を緩和、解消するために、どこを除雪すると一番効果が高いのか考えたときに、まずは中心部からということで市として判断させていただきました。

岡部委員 一般質問でもあったように、除雪状況に関する地域からの様々な要望が市にも相当来ますし、地域の町内会長や議員の皆さんのところにも当然来るということでもありますので、その分についてはGPSを完備した除雪体制を組んでいるということが分かるように示していただければありがたいと思っています。これは要望です。

横野委員 議案説明資料7ページの浸水対策事業費について伺います。  
水橋花の井町地区は面積がどれだけあるのですか。

河川整備課長 面積で言いますと、8.2ヘクタールの団地になります。

横野委員 8.2ヘクタールの団地を造ったときに、調整池など、そのあたりの配慮は何もしていなかったのですか。

河川整備課長 造った当時には、調整池等はありませんでした。その後、平成10年に浸水被害がありまして、その際に市のほうで調整池と排水管の整備をしております。

横野委員 平成10年にそういった対応をしているにもかかわらず、いまだに水があふれるのですか。

河川整備課長 その整備が終わってからの最近まで浸水被害というものは聞いておりませんでした。平成26年度頃から上流部で一部浸水被害が発生しておりまして、その後、令和2年度にはさらに拡大しているという状況になっております。

横野委員 建設部には技術職員がたくさんいるわけですが、500万円もかけて委託して、そういったことを調査しないと原因が分からないのですか。この500万円での委託よりも、技術職員が3人ほど行って一こういう対策を取ることぐらい、何でできないのでしょうか。そのあたりはどうですか。

河川整備課長 令和2年度からそういう状況が発生しましたので、我々も水路やその勾配、現地の水の流れ、あとは調整池への入り方などの現地調査をしてきました。  
ただ、下流はしっかりしていて大丈夫なのに、雨が降るとなぜか上のほうで水があふれるという状況ですから、原因究明についてはなかなか不明な状況になっております。

そこで委託対象を地区全体に広げ、測量も含めてしっかりとした調査をしたいと思っております。

横野委員

何で急にそういった現象が起きるのかということが、何せ納得いかないのです。

実を言うと、先日、某議員が建設部の技術職員にクレームをつけているところを、私もたまたま横にいて聞いていました。側溝の大きさや排水を流す計画について一例えば、この団地を造成したのは富山県の住宅供給公社だという話も聞きました。県のその当時のものを今、20年、30年遡ってどうなっているのだという言い方はしたくはないのだけれども、8ヘクタールもある団地の造成でそんな不備があったのかということになると、非常に疑問に感じるわけです。

水があふれて心配、あるいは浸水するので困るという地域住民の気持ちは分からないでもないけれども、水が抜けるような方向をどうしてできないのかというのは、私はちょっと納得いかないですね。

どれだけ説明を聞いても納得いかないのです。側溝やいろいろなものを大きくして排水を流すとか一白岩川へ抜ける排水の水位が高くて水が抜けないとか、そういった大きな原因が

あるのかないのかというところを疑問に思ったのですけれども、そのあたりはどう思っていますか。

建設部長

横野委員がおっしゃるとおり、我々建設部には技術職員が多数おりますので、もう何人も行って調べさせていただきましたが、先ほど河川整備課長が言ったように、正直どうも原因がはっきりしません。

また、県の住宅供給公社が線引き制度前に造った団地です。今だったら開発行為で市が審査するなどいろいろとできたのですが、そのときにそういうものが全くされていない、未整備のときの団地です。側溝の大きさなどといった図面もない中で、先ほども言ったとおり現地調査をさせていただきましたが、原因ははっきりしないと。

それと、さっき言ったように、市で調整池を整備して、機能していることも確認しています。それなのに、上流部一団地の上のほうで浸水している。

横野委員が言われることも分かるのですが、技術職員でも原因がはっきりしないととなると、最終的に流域全体がどうなっているのか上から下まで調査しなければいけないものですから、さすがに、我々建設部の技術職員を動員

しても、それだけの調査というのはなかなか  
厳しいものがあります。そういう意味で、今  
回500万円という補正予算をお願いした次  
第でございます。

それと、もう1つ我々が心配しているのは、  
国のほうでも言っております気候変動です。  
この間の大雪もそうですが、短時間で大雪が  
降っている、それから雨も短時間でだーっと  
降る。結局そういう短時間に降る雨量に対し  
て対応できていないのではないかという部分  
についても考えないといけないのです。少し  
多面的に考えなければいけないものですから、  
今回こういった業務委託の予算をお願いした  
次第でございます。

横野委員

委員長、水橋花の井町の現場を、一度委員会で視察させてもらえないでしょうか。要するに、浸水が起きる状況があるということを見分たちで見ておかないといけません。ほかの地域、例えば布瀬町の辺りでたくさん雨が降ったら側溝に水が流れず、水がたまる現象があって、ほかにも浸水するところがたくさんある中、ここだけという言い方もおかしいけれども、私たちも現地を見て、原因を見るべきではないかと思えます。

委員会の視察を要望しておきます。

分科会長 分かりました。早速検討いたします。水橋花の井町だけではなく、その他の校区や町内も併せて検討します。

谷口委員 今回の横野委員の関連になりますが、こういう浸水被害が出る場所は、恐らく富山市内にたくさんあると思うのです。令和2年に浸水被害があったので今回ここを調査されるということですが、浸水被害が出ているところは、恐らくここだけではないと思うのです。500万円という補正予算を組んでされる以上は、ここも解決していかないといけないと思いますけれども、これを1つのモデルケースとして解決できるものなのかどうなのか。こういうことがあるたびに500万円の補正予算を組んでやっていくということになると大変だと思うのですが、そのあたりの考えとしてはどう思っていますか。

河川整備課長 確かに今委員がおっしゃったとおり、こちらのほうでもかなりの数の浸水被害対策の要望を受けております。ただ、そういったところにつきましても、側溝の断面が小さい、下流側の断面が小さい、側溝が詰まっている、側溝が破損している、あとは水門操作など、ある程度の原因が見えているものがあると思

ます。そういうものについては、この後、何らかの対応を順次行っていくこととしております。

ただ、今回の場合につきましては、下流がしっかりしているのに、なぜこういうことが起こるのか、原因が見えないということもありますので、こういう調査を委託させていただいたということになります。

谷口委員 先ほど部長も言われましたけれども、気候変動の影響が大きいので、恐らく今まで想定できていなかったことが起こってきているのかなと思います。今からの調査で分かる部分と分からない部分が多分出てくるとは思いますけれども、しっかり調査していただければと思います。

高原委員 議案説明資料８ページの公園管理費についてお伺いします。  
鷹の橋の撤去設計ということなのですが、これは地元の説明や、合意などはいただいているのでしょうか。

公園緑地課長 地元の古沢地区の会長さんや朝日地区の会長さんには話をしております。  
実は平成２９年からこの橋自体を通行止めに

しております、今までの間、特に苦情などもございませんでした。

本年8月に橋梁のカンファレンスというものをさせていただいた結果、この橋の役目は終えたのではないかということで、こういった撤去設計の予算を上げさせていただいております。

岡部委員 議案説明資料6ページの親水広場の基本設計等の業務委託についてお聞きします。

親水広場の利活用に向けた調査を行うということではありますが、親水広場、環水公園並びに市総合体育館利用者を対象とすると記載してあります。まず、具体的にどんな実施方法を考えておられるのかお聞かせください。

建設政策課長 委託業務の中で、聞き取りヒアリング調査というものをまず1つ考えております。それともう1つは、QRコード等を使いまして、スマートフォンからアンケート調査のページに入っていけるような調査方法を今考えております。

岡部委員 QRコードから入ってスマートフォンで調査するということですが、そういうものを調査しますという宣伝といいますか、広報は何か

考えておられるのですか。

建設政策課長 そのあたりにつきましては、ホームページであるとか、あとこの地区にはエリアマネジメント団体もおられますので、そういったところからも周知、広報してまいりたいと考えております。

岡部委員 調査及び分析を一体的にという委託内容になっているのですけれども、同じところで分析も含めて実施されるのですか。  
要は、調査結果の分析だけで、内容についてどうだったのかという、いわゆる今後の利活用についての分析はまた別に行うということですか。

建設部長 今はアンケートを取らせていただいて一やはり利活用についてですね。  
今現在も読んで字のごとく親水広場という形で、いろいろな大規模イベント—皆様御存じのように、富山マラソンのときは最後の終着場所、それから富山グラウジーズのホームアリーナとしていろいろなイベントが開催されていますが、それだけではなくて、これから多様に使っていただくためにはどういう活用方法があるのかということをお我々としては知

りたいと思っています。

そういったニーズを把握した上で、この親水広場をどんな形にしていくのかということも含めて、基本設計、デザインといったものを進めていきたいと思っています。

ですから、今、建設政策課長が申しあげましたように、ホームページなどでもお知らせしますが、とにかく大勢の皆さんから、ここをどうしたいのか、どう活用すればいいのかという御意見を我々としては欲しいのです。そのニーズに合ったもので、中心市街地を活性化する一コンパクトシティの3本柱の1つであります。ぜひ市民の皆様の御意見を聞きながら進めさせていただければと思っています。

岡部委員

部長が言われるように、利活用の方法、あるいはこんなことをしてほしいという御意見をより多く聴取することは大事なことであります。先ほどもありましたけれども、ブルーバールエリアマネジメント富山といった協議会もありますから、そういうところも含めて広範囲な意見を聞いて、使いやすい、いろいろな人がにぎわえる広場になればと思っていますので、ぜひよろしくお願いします。

谷口委員

関連ですが、そもそもこの親水広場というも

のが、市民の皆さんにどの程度理解されているのかというところから入っていかないといけないと思うのです。実は、あそこには環水公園と親水広場とブルバールがありますが、ほとんどの人は多分、環水公園だという認識しか持っていないと思うのです。環水公園は県の所管で、親水広場は市の所管という感じなのだけれども、そこも含めて一体的に利用するというのも考えていかないといけないと思います。

今回これを行うに当たって、まず親水広場とは何ぞやということをご皆さんにもっと分かってもらって、その上でどう利用していくのかということの検討を進めていただければと思いますが、何か考えはありますか。

建設政策課長 今、委員のおっしゃるとおり、ブルバールエリアマネジメント富山との意見交換の中でも、親水広場という名称の認識がやや一致していない方もおられたということがありますので、今回のこういった調査事業の中で、さらに親水広場の魅力、あと位置づけ等を広めてまいりたいと考えております。

谷口委員 しっかり皆さんに愛される広場になってほしいと思います。よろしくお願いします。

分科会長           ほかにないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第168号中建設部所管分の意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長           意見の表明なしと認めます。  
以上で建設部所管分の議案の審査を終了いたします。  
次に、報告案件として提出されている報告第46号 令和2年度富山市一般会計継続費精算報告書、第8款土木費を議題といたします。  
これより、当局の説明を求めます。

建設部次長       〔議案書により説明〕

分科会長           これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長           ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

なお、ただいまの報告案件につきましては、議決不要のものでございます。

以上で建設分科会建設部所管分を終了いたします。

午前 11 時 03 分 休憩

~~~~~

午後 0 時 08 分 再開

分科会長 これより、建設分科会活力都市創造部所管分の議案の審査を行います。

議案第 168 号 令和 3 年度富山市一般会計補正予算（第 4 号）、第 1 条歳入歳出予算の補正、歳出第 8 款土木費中、活力都市創造部所管分

を議題といたします。

これより、順次、当局の説明を求めます。

活力都市創造部長 〔挨拶〕

活力都市創造部次長 〔議案第 168 号中
活力都市創造部所管分の概要について、
議案説明資料により説明〕

交通政策課長 〔議案第 168 号中
新型コロナウイルス対策公共交通支援事業に

ついて、
高山本線活性化事業について、
富山港線フィーダーバス運行事業について、
議案説明資料により説明]

富山駅周辺 〔議案第168号中
地区整備課長 富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業
について、
議案説明資料により説明]

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

岡部委員 議案説明資料2ページの新型コロナウイルス
対策公共交通支援事業、(3)補正の内容の
③公共交通通勤定期割引支援事業について詳
細を聞こうかと思ったのですが、10%割り
引くということを説明の中で補足されました
ので一定額券の金額の10%を補助するとい
う格好でいいですか。

交通政策課長 おっしゃるとおり、富山市内の事業所に通勤
される方を対象に、富山地方鉄道の路線バス
の定期券で10%の割引を行うものです。そ
のうち、市が予算を一部投入しまして、富山
地方鉄道の協力を得て行うものとなっております

ます。

10月1日から翌年3月31日までの期間限定で行うこととしております。

岡部委員

恐らく内容とすれば、富山市民に対して、富山市の事業者への補助という原則であると思うのですが、市内の方では、例えばマイカーから切り替えて、あいの風とやま鉄道を利用して呉羽駅から富山駅へ行かれる方、あるいはバス以外に地鉄電車を利用される方もおられると思うのですが、そこは対象にならないのですか。

交通政策課長

おっしゃるとおりなのですが、実は令和元年度に公共交通に関する市民意識調査を行っておりまして。その中で運賃に対する満足度を聞いたアンケートがございまして一鉄道、ライトレール、市内電車、路線バスについて聞いておりますが一運賃については「不満」もしくは「やや不満」と回答された割合が、路線バスについては46%もありました。路線バスの運賃について、皆さん結構不満に思っているという結果がありましたので、まずは路線バスについて少し定期券を安くできないかということで、富山地方鉄道に協力をお願いしたところ、快く承諾していただいたとこ

ろです。

逆に、鉄道や路面電車もというお話もしてみたのですが、それは今のところ協力は難しいという回答になっております。

岡部委員

当然事業者の皆さんの協力がないとできないと思いますけれども、その調査対象は通勤されている人が中心なのでしょうか。

特に気になったのは、おでかけ定期券などを持っている人は、もっと不満を持っているというかー１００円で行ける人とそうでない人がいる、そういう不満は全く加味していないということでもいいのですか。通勤の方だけに限って調査をしたのですか。

交通政策課長

今回の事業の目的としまして、まず１つ目に、富山市はマイカー通勤が非常に多いという現状がございます。公共交通をはじめとするエコ通勤ーエコ通勤と呼ばせてもらっていますが、公共交通もしくは徒歩、自転車という環境に優しい、ゼロカーボンシティの推進に資する通勤に何とか取り組んでいただけないかということで、まさに今年度から我々は企業訪問をいたしまして、企業向けのリモビリティ・マネジメントを開始したところであります。

その一環としまして、通勤定期券を少し安くすることによって公共交通を利用していただけないかと促す取組を、本事業をきっかけに始めたところでございます。

分科会長 ほかにないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第168号中活力都市創造部所管分の意見の表明を行います。
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。
以上で活力都市創造部所管分の議案の審査を終了いたします。
これで、9月定例会の当分科会に送付されました全議案の審査は終了いたしました。
委員各位に御相談申し上げます。分科会長報告については、正・副分科会長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 それでは、そのように取り計らいます。
これをもって、令和3年9月定例会の予算決

算委員会建設分科会を閉会いたします。

令和3年9月定例会
予算決算委員会建設分科会記録署名

分科会長 竹 田 勝

署名委員 高 原 讓

署名委員 豊 岡 達 郎